

伊勢物語「東下り」テスト対策練習問題と過去問まとめプリント③

年	組	番	名前
---	---	---	----

伊勢物語より「東下り」の原文を読んで、問いに答えなさい

伊勢物語「東下り」原文(第九段)

なほ行き行きて、武蔵の国と下総の国との中に、いと大きな川あり。それをすみだ川といふ。その川のほとりに群れゐて、思ひやれば、限りなく遠くも来にけるかな、と①わび合へるに、渡し守、「はや舟に乗れ。日も暮れぬ。」と言ふに、乗りて渡らむとするに、みな人ものわびしくて、②京に思ふ人なきにしもあらず。③さる折しも、④白き鳥の、嘴と脚と赤き、鳴の大ききなる、水の上に遊びつつ、魚を食ふ。京には見えぬ鳥なれば、みな人見知らず。渡し守に問ひければ、「⑤これなむ都鳥。」と言ふを聞いて、

⑥名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人は⑦ありやなしやと

と詠めりければ、舟⑧こぞりて泣きにけり。

問1 「武蔵の国」にあたる現在の地域を次の中からすべて選び○でかこみなさい。

- ア：神奈川県
- イ：静岡県
- ウ：千葉県
- エ：東京都

問2 下線部①「わび合へるに」を現代語訳しなさい。

問3 下線部①「わび合へるに」とあるが、なにをわび合っているのか、次の中から適当なものを選び○でかこみなさい。

- ア：都から遠く離れてきたこと
- イ：川を渡らなければならないこと
- ウ：日が暮れてしまうこと
- エ：鳥の名前が分からないこと



問4 下線部②「京に思ふ人なきにしもあらず」を現代語訳しなさい。

問5 下線部③「さる折しも」を現代語訳しなさい。

問6 下線部④「白き鳥の」の「の」について文法的に説明しなさい。

問7 下線部⑤「これなむ都鳥」を現代語訳しなさい。

問8 下線部⑥「名にし負はば」の「し」について文法的に説明しなさい。

問9 下線部⑦「ありやなしやと」の「し」について文法的に説明しなさい。

問10 下線部⑧「こぞりて」の古語の意味を答えなさい。

問11 「わが思ふ人はありやなしやと」の意味として適当なものを次の中から選び○でかこみなさい。

- ア：私が恋しく思う人は無事でいるのかいないのか
- イ：私には恋しく思う人がいるのだろうか
- ウ：私の恋しく思う人はどこにいるのだろうか
- エ：私の恋しく思う人に気持ちはあるのかないのか



問12 「舟こぞりて泣きにけり」の理由として最も適当なものを次の中から選び○でかこみなさい。

- ア：まだ旅を続けなければならないから
- イ：都鳥の姿が見えなくなったから
- ウ：恋しく思う人が亡くなってしまったから
- エ：都にいる恋人を思い出したから



伊勢物語「東下り」テスト対策練習問題と過去問まとめプリント③ (解答)

問1 ア・エ

【解説】武蔵の国は、現在の東京都・埼玉県・神奈川県の一部。

問2 嘆き合っていると

問3 ア

【解説】「(都から)限りなく遠くも来にけるかな」とわび合っているのである。

問4 京(都)に恋しい(愛しい)と思う人がいないわけでもない

問5 そのような折に

問6 同格の格助詞「の」

問7 これこそ都鳥だ

問8 強意を示す副助詞「し」

問9 形容詞「なし」の終止形の活用語尾

問10 一人残らず(全員で)

問11 ア



問 1 2 エ

【解説】「名にし負はば」の歌は、都鳥の名前にちなんで「都鳥という名前ならば、都に残してきた私の恋しい人は無事にいるのかどうか教えてくれ」という意味の歌。その歌を聞いて、舟にいた人はみな都に残してきた恋人のことを想って涙したのである。

